



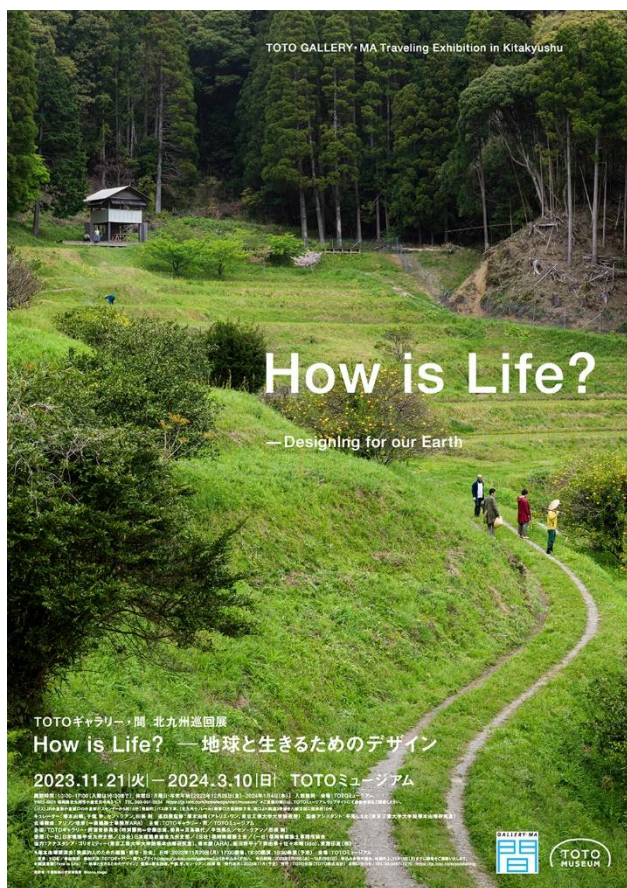
TOTOギャラリー・間 北九州巡回展 How is Life? —地球と生きるためのデザイン

TOTO GALLERY・MA Traveling Exhibition in Kitakyushu
How is Life? —Designing for our Earth

TOTOギャラリー・間(東京都港区)は、2022年度に開催しご好評を頂いた企画展「How is Life? —地球と生きるためのデザイン」を、北九州巡回展として、TOTOミュージアム(福岡県北九州市)にて、2023年11月21日(火)～2024年3月10日(日)の会期で開催します。

建築やデザインを介して気候変動や社会格差など私たちを取り巻く障壁に風穴を開け、成長を前提としない繁栄のあり方を示している古今東西のプロジェクトを紹介します。

また、関連イベントとして塚本由晴講演会「資源的人のための建築・都市・社会」を2023年11月20日(月)に開催します。



撮影地: 千葉県鴨川市釜沼集落

展覧会

会期—— 2023年11月21日(火)
～2024年3月10日(日)

会場—— TOTOミュージアム
福岡県北九州市小倉北区中島2-1-1

休館日—— 月曜・年末年始
[2023年12月29日(金)～2024年1月4日(木)]
※TOTOミュージアムウェブサイト
(<https://jp.toto.com/knowledge/visit/museum>)
にて最新情報をご確認ください。

開館時間—— 10:00～17:00(入館は16:30まで)
入場無料

講演会

塚本由晴講演会「資源的人のための建築・都市・社会」

日時—— 2023年11月20日(月)
17:00開場、18:00開演、19:30終演(予定)

会場—— TOTOミュージアム
福岡県北九州市小倉北区中島2-1-1

定員—— 150名

参加方法—— 事前申込制／参加無料
TOTOギャラリー・間ウェブサイト
(<https://jp.toto.com/gallerma>)
よりお申込みください。

申込期間—— 2023年9月13日(水)～10月29日(日)
申込み多数の場合、抽選の上、
11月13日(月)までに結果をご連絡いたします。

展覧会概要

TOTOギャラリー・間は、TOTOミュージアム(福岡県北九州市)での巡回展として、塚本由晴、千葉学、セン・クアン、田根剛の4氏をキュレーターに迎えた企画展「How is Life?—地球と生きるためのデザイン」を開催します。

21世紀に生きる私たちは豊かな暮らしを享受する一方で、気候変動や社会格差、感染症の拡大等による世界情勢の変化など、さまざまな課題に直面しています。こうした状況を受け、地球環境に対し建築に何ができるのか、4人のキュレーターと議論を重ねてきました。その過程で、建築を「人びとの暮らしをよりよくすることに奉仕するもの」として捉え直し、生活に関連するあらゆる分野に目を向けてみると、私たちを取り巻く障壁に風穴を開けるような事例の芽がいたるところで見つかりました。こうした議論やリサーチが、建築やデザインを介した、成長を前提としない繁栄のあり方を探る本展のテーマ「地球と生きるためのデザイン(Designing for our Earth)」へと発展しています。

展覧会会場では、本展キュレーターチームからの問いかけ「How is Life?」に答えている古今東西の多彩な事例をリサーチから見いだし、紹介します。

一例として、2018年にフランスで開催された展覧会「Capital Agricole(キャピタル・アグリコール)」では、色鮮やかなドローイング等を通じて、農業と共存するパリと周辺都市の未来像を提示しています。「藤村記念堂」(岐阜県、設計:谷口吉郎)は、地元出身の文豪を慕う人びとの熱意に建築家が呼応し、物資に乏しい戦後の山村において、子供や女性を含む村人たちの手で1947年に建設されました。

かつて存在した営み、現在進行形で行われている取り組み、さらに今の日本ではまだ見ることができないもの——私たちが知る都市や建築とは別の可能性を感じさせるこうしたプロジェクトを提示することで、多様な解釈やさらなる議論を導くとともに、一人ひとりに気づきが生まれ、地球とともに生きていくための新たな視点を見いだしていただくことを期待しています。

TOTOギャラリー・間

展覧会詳細

展覧会名(日)——TOTOギャラリー・間 北九州巡回展

How is Life?—地球と生きるためのデザイン

展覧会名(英)——TOTO GALLERY・MA Traveling Exhibition in Kitakyushu

How is Life?—Designing for our Earth

会期———2023年11月21日(火)～2024年3月10日(日)

開館時間———10:00～17:00(入館は16:30まで)

休館日———月曜日・年末年始[2023年12月29日(金)～2024年1月4日(木)]

*ご来館の際には、TOTOミュージアムウェブサイトにて最新情報をご確認ください。

入館料———無料

会場———TOTOミュージアム 福岡県北九州市小倉北区中島2-1-1

TEL 093-951-2534 <https://jp.toto.com/knowledge/visit/museum>

【バス】JR小倉駅 小倉城口の小倉駅バスセンターから約15分「貴船町」バス停下車1分

【北九州モノレール】香春口三萩野駅下車、南口より国道3号線を八幡方面に徒歩約10分

キュレーター——塚本由晴、千葉 学、セン・クアン、田根 剛
巡回展監修——塚本由晴(アトリエ・ワン、東京工業大学大学院教授)
監修アシスタント—平尾しえな(東京工業大学大学院塚本由晴研究室)
会場構成——アリソン理恵(一級建築士事務所 ARA)
主催——TOTOギャラリー・間/TOTOミュージアム
企画——TOTOギャラリー・間運営委員会
(特別顧問=安藤忠雄、委員=貝島桃代/平田晃久/セン・クアン/田根 剛)
後援——(一社)日本建築学会九州支部/(公社)日本建築家協会九州支部/
(公社)福岡県建築士会/(一社)福岡県建築士事務所協会
協力——アナスタシア・ゴリオミティー(東京工業大学大学院塚本由晴研究室)、
青木廉(ARA)、飯田将平+下岡由季+佐々木晴(ido)、東湘印版(株)

展覧会コンセプト

How is Life? ——地球と生きるためのデザイン

産業革命以降手に入れた生産力を背景に、成長を是としてきた人類の活動は、プラネタリー・バウンダリー^{※1}を超え、気候変動や南北格差をもたらし、声をあげることのできない生物や将来世代を搾取し続けている。その対応策として、成長の原動力となった産業や便利な暮らしを維持しつつ環境負荷を低減させる行動がSDGsとして推奨されているが、事態はより深刻で、持続的成長ではなく成長なき繁栄^{※2}を本気で検討しなければならないところまで来ている。そのためには産業分野だけでなく、暮らし自体を見直し、その構成要素の一つ一つを、地球に負荷をかけない方向に転換していかなければならない。しかし、産業からサービスを買うことに慣れてしまった我々は、自らの手で衣食住やエネルギーを獲得するスキルをもたず、また産業社会的連関による包囲網はそこからの逸脱を容易には許さない。20世紀後半につくられた生産—消費—廃棄の想定を定着し続けてきた構築環境の中に暮らしていると、その想定を疑うことも容易ではない。そこで培われた自画像は、同じ想定に基づく構築環境や暮らしを再生産してしまう。その反復から抜け出して、成長なき繁栄を選ぶのならば、我々はどう生きるか？

建築が人々の暮らしをよりよくすることに奉仕するものであるならば、そうした包囲網を障壁として発見し、挑んでいくことから、建築的営為を始めるべきだろう。その時話し合いのテーブルにつくのは、今ここにいる自分達だけでなく、立場の弱い人、地球の別の場所にいる人、未来の人、そしてヒト以外の生物かもしれない。「How is Life?」という、彼ら、そして私達自身への問いかけを、建築展という形にする試みに、ご期待あれ。

TOTOギャラリー・間 企画展 How is Life?
キュレーター
塚本由晴、千葉 学、セン・クアン、田根 剛

出典

※1 プラネタリー・バウンダリー

Rockström, Johan, et al. "A safe operating space for humanity." *Nature*, vol. 461, no. 7263, 24 Sept. 2009, pp. 472+.

※2 成長なき繁栄

Tim Jackson (2009). *Prosperity without Growth*. Earthcan. (ティム・ジャクソン 田沢恭子(訳) (2012).
成長なき繁栄 —地球生態系内での持続的繁栄のために— 一灯舎)

塚本由晴 Yoshiharu Tsukamoto

建築家。1965年生まれ。1987年東京工業大学工学部建築学科卒業。1987～88年パリ・ベルビル建築大学。1992年貝島桃代とアトリエ・ワン設立。1994年東京工業大学大学院博士課程満期退学。1996年博士(工学)。UCLA、Harvard GSD、Columbia GSAPP、Cornell AAP、KADAK他で客員教授を歴任。現在、東京工業大学大学院教授。



©Anna Nagai

千葉 学 Manabu Chiba

建築家。1960年生まれ。1985年東京大学工学部建築学科卒業。1987年同大学院修士課程修了。日本設計、ファクターエヌアソシエイツ共同主宰、東京大学工学部キャンパス計画室助手、同・安藤研究室助手を経て、2001年千葉学建築計画事務所設立、東京大学大学院准教授に着任。2009～10年スイス連邦工科大学客員教授ののち2013年より東京大学大学院教授。



©Anna Nagai

セン・クアン Seng Kuan

建築史家。1976年生まれ。2011年ハーバード大学大学院博士課程修了。現在、東京大学国際建築教育拠点(SEKISUI HOUSE - KUMA LAB) 特任准教授、米ハーバード大学デザイン大学院講師。専門は日本現代建築史。2021～22年『a+u』誌チーフ・エディトリアル・アドバイザー。



©Anna Nagai

田根 剛 Tsuyoshi Tane

建築家。1979年東京生まれ。Atelier Tsuyoshi Tane Architects代表として、フランス・パリを拠点に活動。北海道東海大学芸術工学部建築学科卒業。ヘニング・ラーセン、デイヴィッド・アジャイ事務所を経て、2006年DGT.(Dorell.Ghotmeh.Tane / Architects)設立(パリ)、2017年Atelier Tsuyoshi Tane Architects設立(パリ)。



©Anna Nagai

関連イベント

塚本由晴講演会「資源的人のための建築・都市・社会」

日時———2023年11月20日(月)17:00開場、18:00開演、19:30終演

会場———TOTOミュージアム

定員———150名

参加方法———参加無料／事前申込制

TOTOギャラリー・間ウェブサイト(<https://jp.toto.com/gallerma>)よりお申込みください。

申込期間———2023年9月13日(水)～10月29日(日)

申込み多数の場合、抽選の上、11月13日(月)までに結果をご連絡いたします。

注意事項———状況により、予定が変更になる場合がございます。

当講演会では未就学のお子様連れのお申し込みはご遠慮いただいております。

関連書籍

『How is Life? ——地球と生きるためのデザイン』

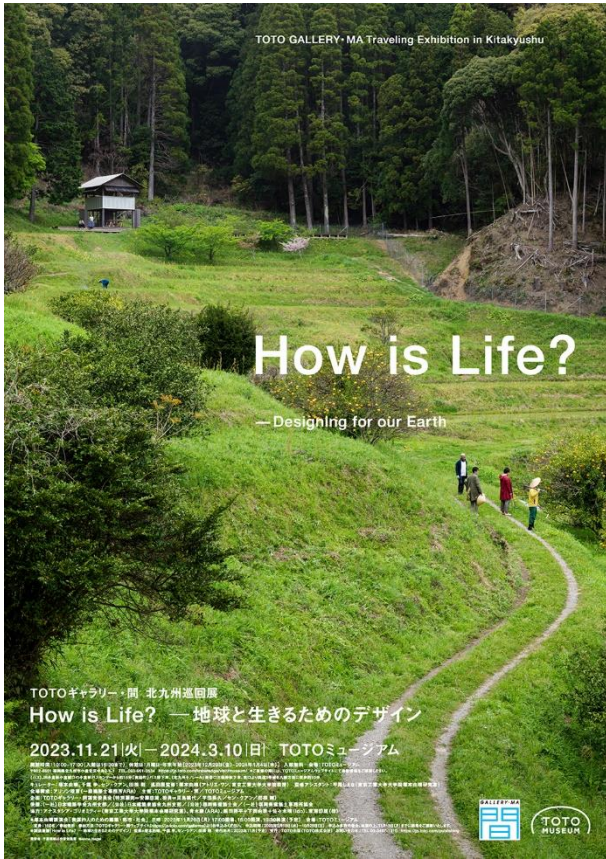
監修———塚本由晴、千葉 学、セン・クアン、田根 剛

発行年月———2023年11月(予定)

発行———TOTO出版(TOTO株式会社)

お問い合わせ—TEL 03-3497-1010 <https://jp.toto.com/publishing>

[A] 展覧会ポスター、TOTOギャラリー・間 企画展 How is Life? キュレーター



©Anna Nagai

[2]TOTOギャラリー・間 企画展 How is Life? キュレーター

上段左より 塚本由晴、千葉学
下段左より セン・クアン、田根剛

[1] ポスター画像

[B] 出展プロジェクト例 (展示内容は予告なく変更することがございます)

※下記図版をご利用の際には使用条件がございますので、広報担当までお問い合わせください。



©Yann Kebbi

[3] Capital Agricole

SOA / Augustin Rosenstiehl, architecte | フランス、パリ、
アルスナル建築博物館 | 2018



©菊池重三郎

[4] 藤村記念堂

谷口吉郎 | 岐阜県 | 1947



©小さな地球

[5] 古民家ゆうぎつか

茅葺請主催: 小さな地球+東京工業大学塚本研究室
千葉県鴨川市釜沼集落 | 2021-



©小さな地球

[6] 古民家下さん

改修: 小さな地球+東京工業大学塚本研究室
千葉県鴨川市釜沼集落 | 2021

TOTOの建築文化活動

TOTOは、建築の専門ギャラリー「TOTOギャラリー・間(ま)」と建築系書籍の出版をおこなう「TOTO出版」を運営しています。

これらは、建築文化の醸成・育成を通して社会に貢献することを目的として創設され、30余年にわたり活動しています。

「TOTOギャラリー・間」と「TOTO出版」の活動目的は、建築家もつ多様な価値観を空間で表現する「展覧会」、自身の言葉で伝える「講演会」、そしてかれらの理論と思想を伝える「出版」によって、建築家のメッセージとして発信することです。



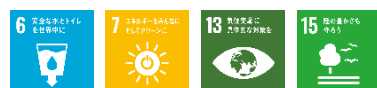
TOTO出版

新共通価値創造戦略 TOTO WILL2030

きれいと快適



環境



人とのつながり



「環境・社会的価値」と「経済価値」を同時に実現する新共通価値創造戦略 TOTO WILL2030では、「きれいと快適」「環境」「人とのつながり」を取り組むべき重要課題「マテリアリティ」としてサステナビリティ経営を強化し、国連の「持続可能な開発目標(SDGs)」にも貢献していきます。

<https://jp.toto.com/company/profile/philosophy/managementplan>

本件に関するお問い合わせ先

TOTO株式会社 広報部

- 東京広報グループ 担当: 志村、山下
電話: 03-6836-2025 住所: 東京都港区海岸1-2-20 汐留ビルディング24階
- 本社広報グループ 担当: 山崎、宮副
電話: 093-951-2901 住所: 福岡県北九州市小倉北区中島2-1-1

このニュースリリースは、北九州経済・金融記者クラブに投函しているほか、以下ウェブページでも公開しています
<https://jp.toto.com/company/press>